

自己評価の結果について 令和元年度

学校法人旭川カトリック学園 天使幼稚園

1. 本園の教育目標

・キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己肯定の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切にしたい教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と教師間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・モンテッソーリ教育による自主選択活動を通して、人生の基本である自由・責任・集中力・自立心を養う。
- ・3・4・5歳縦割りクラスの中で、思いやり、尊敬、自他との調和を体得し、社会性を育てる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・キリスト教の理念・カトリック幼稚園としての教育目標に基づいて、保育の計画を立てている。・指導計画は、幼児の発達に即して、幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成し、幼児一人一人の実態や状況に丁寧に対応できるような柔軟性のあるものになっている。・モンテッソーリ教育を取り入れ、園児が主体的に活動を展開していける場を整えている。・満3・3・4・5歳児混合で、異年齢の園児が自然に交流し、楽しい雰囲気の中で友だちとつながり、豊かな経験が出来るよう配慮している。・万物の創造主であり、いつも私たちを守って下さる神様を身近に感じられるように、毎日の祈りを通して、自然現象や季節の変化、社会事象などに興味を持ち、感性を磨き、考える力を養えるよう導いている。

<p>2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援 その他の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で清潔な環境の中で、園児が安心して生活できるよう、職員が協力して清掃に努めている。 ・朝の登園時には、特に視診を大切にし、園児の体調が悪くないか確かめ、感染症の広がりを防いでいる。 ・園内の危険箇所や危険な遊び方に注意し、職員間で気を配っている。 ・園児一人一人の話をよく聞き、その子の思いを受け止め、個々をよく観察すると同時に、園児同士の関わりの姿を捉える。 ・園児の理解のために、家庭との連携を図っている。
<p>3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質 向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の性格や個性を把握し、その子の考えや感じていることを理解して、園児の成長を自分の喜びと感じ、共に生活を創る。 ・保育者としての自覚を持ち、服装・髪型・身だしなみなど清潔感のあるものを心掛ける。 ・組織の一員として、職員全員でチームであることを自覚し、職員会議では他者の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を積極的に述べる様に努める。
<p>4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園便りや懇談会等で保護者へ情報を提供し、リニューアルしたホームページのブログ更新で、楽しい園生活の発信に努める。 ・保護者に個々の園児の様子を伝える工夫をし、保護者からの相談には心を開いてよく話を聞くよう心掛ける。また、要望には、園の教育方針や事情を理解して頂きながら検討する。
<p>5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌の豊かな自然を感じたり、楽しい施設で色々な体験が出来るよう園外保育を行っている。 ・東区幼保小連携推進協議会に参加し、小学校の先生からお話を伺う機会を持っている。また、卒園する園児が小学校にスムーズに移行できるよう必要な連携をとっている。今年度は、小学校の授業参観・研修会にも出席させて頂き勉強の場を持つことが出来た。 ・北11条教会のバザーに参加し、教会や地域の人々との交流を持っている。また、卒園生と保護者も楽しんで参加してくれている。 ・平日保育日に年間5回の園庭開放を行い、地域の未就園児が園児と一緒に遊んだり、保護者に園内を案内し見学して頂いている。

<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の専門家として研修会には自己課題を持って参加している。 ・今年度は「子ども達の今と未来の幸せを願って」～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～というテーマの基、北海道私立幼稚園研究大会・札幌ブロック大会、札幌市私立幼稚園研究大会が行われた。本園は公開保育当番園にあたり、モンテッソーリ教育による自主選択活動と年中体操を公開した。また、公開保育研究発表としてモンテッソーリ教師有資格者を中心にプロジェクトチームを結成し、「自分で考えて生きる力を育てる」というテーマで研究を進めた。さらに、この研究発表は、後に母の会で保護者の方々にも発表させて頂いた。 ・北海道カトリック幼稚園教職員研究大会、旭川カトリック学園研修、札幌市教育センター研修、特別支援研修、東区幼稚園研修等に参加し学ぶことが出来た。
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者は毎年自己評価表で自己点検を行い、保育者としての自覚と責任を理解・確認するとともに、どのような姿勢で保育に従事する事が重要であるか、保育のプロとして質の良い保育をめざすよう努力する。 ・保護者を代表して、役員の方々に自己評価結果を公表し、学校関係者評価を頂き、結果はホームページで公開する。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・保育者一人一人の自己評価によって、自分の課題を発見する時間を得ることができた。 ・今後も、教職員全体で課題を共有し、お互いの保育の質の向上を図り、子ども達の未来のために研鑽を積む。
--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
-----	-----------

<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児・保護者・教職員にとって、安全な環境であるために、玄関電気施錠を行い、外部からの侵入者を防ぎ、玄関・1階ベランダに防犯カメラを設置し、画像を保存している。 ・警察や札幌市から提供される不審者情報には速やかに対応する。 ・消防法を踏まえ、施設設備の安全管理に努め、年2回の避難訓練（火事・地震）を行い、園児避難誘導を行った。 ・災害時のため、全園児分のアルミブランケット、保存用ビスコ・飲料水を備蓄している。今後も子ども達を守る災害時対策を検討していく。 ・緊急時に備え、園内にAEDを設置している。 ・園児や教職員の健康診断を行っている。 ・伝染病が発生しないように衛生管理を行い、病気の流行が予測される場合は、速やかに園医や保健所に相談し、指導を受けて対処し、家庭に通知の必要があれば手紙を配付している。
<p>特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に気になるところがある園児、特別な支援を要する園児は、家庭や東区幼児教育支援員（札幌市幼児教育センター）、各関係機関と連携・協力しながら指導計画を立て、職員間で共通理解の上、協力し合い援助している。また、発達と学びの連続性を確保するため小学校との引き継ぎ会等で連携を図っている。
<p>園に対する保護者の満足度の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母の会、懇談会、行事お手伝い時等に保護者の方からいただくお話や、悩み・不安、要望・意見などを謙虚に受け止め、誠実に、また、柔軟に対応する。 ・保護者の方に書いて頂いている「夏休み・冬休みの様子」や、「卒園によせて」を、園長・副園長・担任が読み、保護者の思いを理解し、感謝して受け止め、今後のより良い幼稚園作りを目指す。 ・この度の学校関係者評価の結果を真摯に受け止め、カトリック幼稚園・モンテッソーリ教育に求められている期待に応えられるよう努力する。

6. 学校関係者の評価

各組・各学年のクラス代表の方に、本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想をいただきました。

1. 保育の計画性

- ・キリスト教の理念・カトリック幼稚園としての教育目標に基づいて保育の計画を立てている。
- ・モンテッソーリ教育をとり入れ、主体的に活動出来る場を整えている。
- ・異年齢の園児が楽しい雰囲気の中で友達とつながり、季節の行事を体験出来るようにしてい

る。

- ・異年齢の混合保育によって年上の子への尊敬や憧れ、同じ年の子への仲間意識、年下の子への思いやりの気持ちが自然に身についている。
- ・モンテッソーリのお仕事は自分で選択でき、教具は清潔で常に整頓されている。
- ・新しい教具も定期的に追加され、子ども達が新鮮な気持ちで取り組む事が出来ている。
- ・キリスト教の理念に基づく教えによって、神様の存在を身近に感じており、天気や四季の変化などを生き生きと感じ、それを表現できている。
- ・キリスト教の理念に基づいた保育計画を毎月の園だよりで周知している。
- ・日々の保育やモンテッソーリの活動は、段階的に新しい物や、複雑な物を取り入れ、子供達の成長に寄り添えるように考えられている。
- ・日常的に異年齢交流を取り入れる事で、年下の子を思いやったり、年長児を見て目標にしたがりという事が、自然に意識されている。
- ・日々のお祈りや行事を通して、神様の存在を身近に感じる事ができている。

2. 保育の在り方、幼児への対応

- ・安全で清潔な環境の中で、園児が安心して生活できるように十分に清掃されている。
- ・園庭やホールが広くないので遊べる園児数の検討が必要。多くの園児が園庭・ホールにでると、職員も少ない為ケガをしても見ていなかったり、すぐに対応できない状況にある。
- ・職員が連携し園内の清掃を徹底し、感染予防に努めている。
- ・複数の教師と連携し、意見交換・情報交換することで、園児を多面的に理解し、継続的に見守っている。
- ・園内・園外保育時、多数の職員が見守る事で事故予防に努めている。
- ・毎日徹底した掃除がされているので、常に清潔な園内で過ごすことができ、安心して預けることができる。
- ・手洗いを積極的にし、感染症の広がりを最小限におさえるよう気を配っている。
- ・先生は、気持ちをくみ取るように園児ひとりひとりの話を聞くようにしている。
- ・保護者は心配事や悩みがある時は、先生に話せば、いつでも親身になって相談に乗ってくれる。

3. 保育者としての資質

- ・常に園児の事を1番に考えて個性を伸ばす指導をされている。
- ・いつも言葉遣いが美しく、優しい雰囲気ので気軽に悩みを相談しやすい。
- ・今年度は若手の先生が加わり、真面目で一生懸命な姿に、これからの天使幼稚園の可能性を感じる。
- ・園児に対して指導者としての威厳が保たれていて、保護者とは程良い距離感で接している。
- ・園児の成長や特性をよく見ていて、保護者に伝えている。
- ・大人として園児の手本となるような振る舞いをしている。

- ・清潔感があり TPO に基づいた装いである。
- ・経験の浅い先生も真摯な姿勢で保育活動や保護者との関わりを行なっている。
- ・時代の変化に応じた母子のニーズを汲み取りながらも信念を持ち子供主体の保育を心がけている。

4. 保護者への対応および家庭との連携

- ・懇談会等の保護者が集まる際には、それぞれの園児の様子も丁寧に説明している。保育に関しては要望や疑問がある際には職員が親身に個別対応をし、その情報も全職員がしっかりと共有している。そのため園児 1 人ずつのきめ細かな保育を実現している。
- ・疑問に思ったことを聞くと、すぐに対応し納得のいく解答が得られる。
- ・園の教育方針を行事ごとにわかりやすく説明し、保護者の理解を得ている。
- ・母の会を定期的開催し、情報の発信・共有に努めている。
- ・ホームページがリニューアルされ、園内の様子が毎月更新されていて、子供達の様子がよくわかるように伝える工夫をしてくれている。
- ・保護者からの要望を取り入れ、可能な限り実行できるよう積極的な姿勢で取り組んでくれる。

5. 地域社会との連携

- ・動物園や公園、りんご狩り等の園外保育で動植物に触れる機会を積極的に設けている。
- ・小学校入学に向けた情報提供や支援に努めている。
- ・カトリック北 11 条教会バザーは、園児と保護者が地域の方々と交流出来る楽しみなイベントの 1 つになっている。
- ・先生方が小学校に見学に行き、思ったことや感じたことなど保護者にもしっかり情報がつたわり 1 年生になる親は安心できた。
- ・教会のバザーは地域の人々や卒園生とふれあうことの出来る大切な場として、これからも続けていってほしい。
- ・バザーは先生・保護者・教会・地域の方々と交流出来る貴重な良い機会となっており、子供達も買い物等を楽しみながら、地域と関わる事が出来る大切な行事となっている。
- ・年長者と保護者に CAP プログラムを行い、地域への安全、防犯意識を高めている。
- ・平日園庭開放を実施し、地域の未就学児と保護者と関わる機会を持っている。
- ・円山動物園・百合が原公園・りんご狩りなどの園外保育は、自然・動植物と触れ合える良い経験であり、子供達にとって楽しみな行事なので、今後も充実を図り、園児の食育・意欲・共感等の向上につなげてほしい。
- ・東区幼保小連携推進協議会に参加し、小学校入学に向けた情報を得て、学校生活に向けた支援に努めている。
- ・講演会では、日本赤十字社から講師を招き、応急処置・救命の仕方を学び、先生・保護者・子供への安全意識を高めている。
- ・園医と連携し、園児の感染症等への対策について配布物等を通して情報を開示し、保護者との連携・協力を行なっている。

6. 情報公開

- ・母の会で学年別にそれぞれの保育の状況やお仕事の様子を丁寧に伝え、教育活動の情報・公開・共有に努めている。
- ・園だよりでの保育のねらい幼稚園全体の生活の様子を簡潔に伝えてくれている。
- ・保育参観やブログの写真で公開する場を設けてくれているが、クラスだよりがあるとより細かく園児の様子を知る事が出来ると思う。ブログの写真は多く掲載されており普段の園での様子を知る事が出来る。
- ・自己評価の結果、学校関係者の評価をHPで公開しており、今後も安心して園児を預ける事が出来るよう、また保育のあり方等を共有しあえるよう努めている。
- ・質の高い教育が行われていると感じる。
- ・モンテッソーリの資格を持っている先生がしっかりとモンテッソーリ教育を子ども達にするため、日々の努力と向上心を感じる。
- ・母の会で研究発表のスライドとナレーションを見せてもらい、園の考えをより理解できた。
- ・11月にホームページのスペシャルサイトが開設し、可愛くなり、見やすくなった。園の特色や園の生活を紹介しているので、入園を考えている保護者の方に情報を発信していると考えられる。
- ・園便りに保育のねらいやお誕生日の園児、安全のために気をつけることなど、的確に伝えている。ただ、もう少し早めに配布していただくと仕事をしている保護者はとくに助かると感じる。
- ・作品展では、園児がどのようにモンテッソーリ教育をしているか、進級するとどのようなことに発展していくのか、紹介してくれている。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。